

畑野小だより

令和4年12月号

めざす
児童像

「は」 (はきはき話し、あいさつする子)
「た」 (たのしく遊び、勉強する子)
「の」 (のびのび元気に、がんばる子)



年の瀬の寒さが厳しい季節となりました。はやくも12月を迎え、吹く風の冷たさに本格的な冬の到来を感じます。その寒さにも負けず、子どもたちは元気に遊びや学習に取り組んでいます。

さて、畑野町の行事であるフェスティバル in 畑野は、昨年度に続き本年度、中止となりました。小学校では子どもたちの日々の学びを少しでも知ってもらおうと、11月23日(水)に『畑野小学校学習発表会』を本校体育館で開催しました。コロナ禍で学習活動にも制限があるなかで、工夫をしながら練習をしてきました。多くの人の前で、発表する子どもたちは一人一人が緊張感を持ちつつ、精一杯の頑張りを見せていました。日頃の学習の成果が少しでも伝われば幸いです。この取組を通して、子どもたちは、みんなで一つのものを創り上げる素晴らしさや楽しさ、やり遂げることの大切さを学び、そして自信と達成感を得ることができたと思います。保護者の皆様には、早朝から熱心にご参観いただき、また、子どもたちを大きな愛情と拍手で包んでいただきましたことに心からお礼申し上げます。

また、2学期のこの時期は、人権旬間の取組を行っています。「全校の友だちのいいところを見つけよう」を目標に集会で児童会本部からの劇を見て考えたり、各学級で具体的な目標を考えたりしました。1年生は、「ともだちに気持ちをきく。ともだちに気持ちをほなす。こまった人をたすける。」2年生は、「会った人に自分から進んで明るく元気にあいさつをする。やさしいことばをつかって友だちとなかよく元気にあそぶ。」3年生は、「だれにでも自分からやさしい声かけや行動をする。」4・5年生は、「自分からすすんでみんなにあいさつをする。」6年生は、「みんなの思いやりややさしいひとことを大切にして笑顔でありがとうを言おう。」です。この取組を通して自尊感情や自己有用感とともに他者を認め思いやる心を育むことを目指しています。取組期間が終わっても、引き続き今の気持ちを持ち続けてほしいと思います。

多くの行事や取組を実施した2学期もあと3週間あまりで終業式を迎えます。学期のまとめをしっかりと行い残りの2学期を元気に過ごしてほしいと思います。子どもたちの学習活動を支えてくださっているのは、保護者の皆様、地域の皆様です。多くのご支援をいただきながら子どもたちは学びを積み上げ、力を蓄えていきます。今後とも変わらぬご支援をよろしく願います。

校長 鶴尾 直広